

NEW

## アデノウイルス／ヘルパーウイルスを用いずに rAAV 粒子を作成

# AAV Helper Free Expression System

アデノウイルスを用いることなく、組換えアデノ随伴ウイルス (rAAV) 粒子を安全に作製することができるシステムです。8種類のウイルスセロタイプからなる AAV Rep-Cap プラスミドと8種類の AAV 発現ベクターからお好みの組み合わせで選択し、目的の発現システムを構築できます。

※本製品は、大学・官公庁の研究所・非営利機関にご所属の方のみご購入が可能です。

[メーカー：CBO]

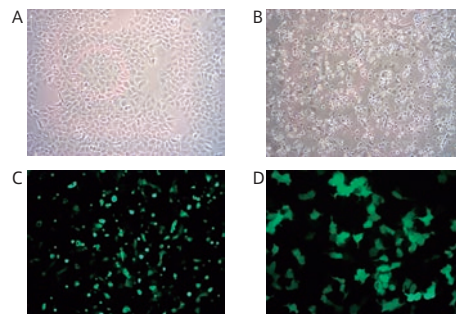
### 特長

- ヘルパーウイルスを使用しないため、より安全で簡便な遺伝子導入が行えます。
- 8種類の AAV Rep-Cap プラスミドと8種類の AAV 発現ベクターは、それぞれ個別でもご購入いただけます。
- すべてのベクターは個別包装されているので、コンピテントセルを用いて増幅することが可能です。
- AAV 発現ベクターは選択マーカーの違いや、プロモーターレス、shRNA 用、トランスフェクション効率に優れた scAAV (self-complementary AAV) \*が用意されています。

\*Wang Z., et al., *Gene Ther.*, **10** (26), 2105~2111 (2003).

(PMID : 14625564)

### 使用例



AAV2-GFP の作製と形質導入

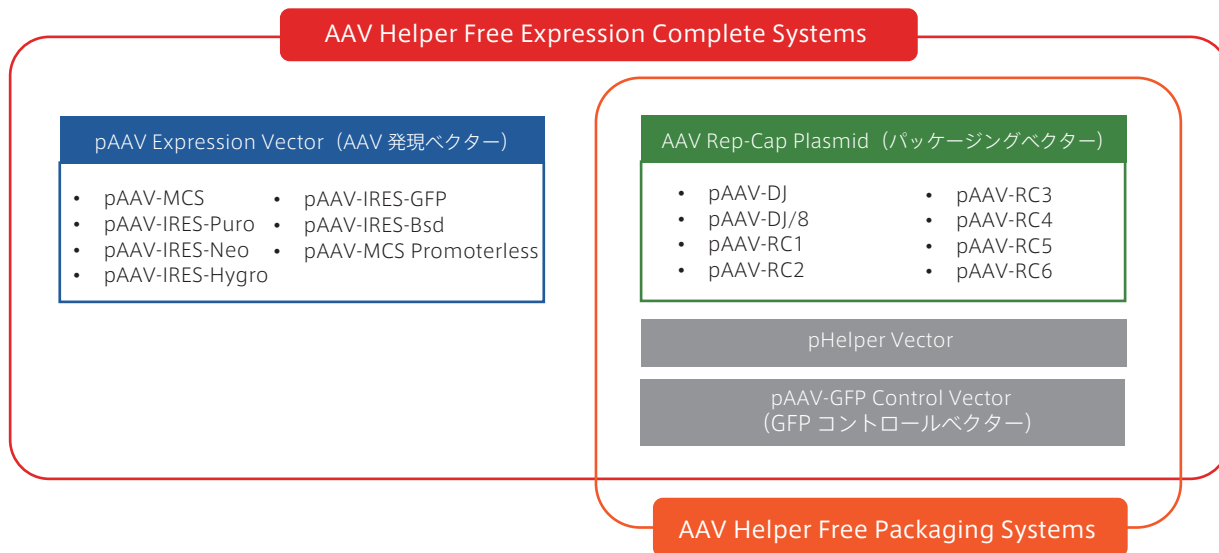
- A : トランスフェクション前の 293AAV 細胞  
 B : トランスフェクション後 48 時間経過の 293AAV 細胞  
 C : トランスフェクション後 48 時間経過の 293AAV 細胞の GFP の発現  
 D : 感染後 48 時間経過の 293AD 細胞の GFP の発現

### 製品ラインナップ

AAV Helper Free Expression System には以下のフォーマットがあります。

AAV Helper Free Expression Complete Systems	パッケージングベクター、AAV 発現ベクター、GFP コントロールベクターが含まれている。
AAV Helper Free Packaging Systems	パッケージングベクター、GFP コントロールベクターが含まれている。 目的の遺伝子を含む AAV 発現ベクターをすでに持っている場合はこちらがオススメ。

AAV 発現ベクター、パッケージングベクターなどのキットコンポーネントのベクターは、それぞれ単品でも販売しています。



※価格や商品コードについてはフナコシ Web をご覧下さい。